

- 第一部 ・ CEFR および CEFR-Jについて：根岸雅史氏（東京外国語大学 特任教授）
- ・ 東京外国語大学 CEFR-Jの多言語への応用：投野由紀夫氏（東京外国語大学 教授）



## 投野 由紀夫

東京外国語大学  
大学院総合国際学研究院 教授  
ワールド・ランゲージ・センター長

専門はコーパス言語学、CEFRを用いた外国語教育、第2言語習得研究。アジア辞書学会元会長、英語コーパス学会元会長。2008年からCEFR-Jプロジェクトを中心になって進め、学内で28言語専攻にCEFR-Jを適用するCEFR-Jx28プロジェクトを主導し、概算要求で Lingua テスト・センターを発足させ、CEFR利用の語学教育コンテンツを研究開発している。



## 根岸 雅史

東京外国語大学  
世界言語社会教育センター 特任教授

専門は英語教育学。特に、言語テスト。著書に『テストが導く英語教育改革』（三省堂、2017年）、『教材・テスト作成のためのCEFR-J リソースブック』（大修館書店、2020年）、論文に The Impact of the CEFR in Japan (Reflecting on the Common European Framework of Reference for Languages and Its Companion Volume, 2022) などがある。

- 第二部 ・ ワールド・ランゲージ・センターの多言語 Can Do テストの統括
- ・ 東京外国語大学の各言語（中国語、ポーランド語）の実践や現状
- ・ ディスカッション ～ 立教大学の事例を踏まえつつ



## 梅谷 博之

東京外国語大学  
世界言語社会教育センター 特任講師

専門は記述言語学、対照言語学。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程単位取得満期退学。博士(文学)。東京大学、東京外国語大学、明海大学での勤務を経て2024年度より現職。近著に「モンゴルの英語」(大石晴美編『World Englishes 入門：グローバルな英語世界への招待』第12章、昭和堂、2023年)がある。



## 井坂 ゆかり

大阪大学  
大学院人文学研究科言語文化学専攻  
講師

専門はドイツ語学・言語学。東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程単位取得退学後、同大学にてドイツ語の非常勤講師を務め、2021年10月から2024年3月まで同大学世界言語社会教育センターで特任講師として勤務。2024年3月、同大学にて博士(学術)を取得。2024年4月より現職。



## 望月 圭子

東京外国語大学  
大学院総合国際学研究院 教授

専門は外国語教育学、英語・中国語・日本語学習者コーパス研究。主要な著書として Learner Corpora: Construction and Explorations in Chinese and Related Languages (Springer Nature, 2023) や、Corpus-Based Perspectives in Linguistics (John Benjamins, 2007) がある。



## 森田 耕司

東京外国語大学  
大学院総合国際学研究院 准教授

専門はポーランド語学、ポーランド言語文化、スラヴ言語学、社会言語学。京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学。ポーランド科学アカデミースラヴ学研究所にて博士号(スラヴ言語学)取得後、同研究所准教授、ヤギェロン大学准教授、神戸市外国語大学准教授を経て、2013年4月より現職。

## ◆立教大学 外国語教育研究センター登壇者



 ドイツ語  
牛山 さおり  
准教授



 スペイン語  
泉水 浩隆  
教授



 中国語  
南雲 大悟  
准教授



 ロシア語  
山田 徹也  
特任准教授



 フランス語  
関 未玲  
教授



司会・企画：三浦 愛香（教授、英語）  
趣旨説明：佐々木 正徳（外国語教育研究センター長、朝鮮語）